

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期			
専門	小児看護学概論	1	15	1年次 ・ 2学期			
担当講師	専任教員 (小児科病棟で看護経験あり)						
授業概要	小児期は人間のライフサイクルの中でも人生の基盤となる重要な時期であり、最も変化に富んでいるため成長発達段階において異なった特徴があることを学習する。小児医療・看護の歴史の変遷から現代社会の問題を知り、子どもをひとりの人間として捉え、子どもの人権を尊重した小児看護の役割を学習する。						
授業目標	1. 小児の特徴と小児看護の基盤となる概念を理解する。 2. 小児看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状、小児看護の役割を理解する。						
回数	授業内容	担当者					
第1回	1. 小児看護の目ざすところ 1) 小児看護の対象、子どもの特徴 2) 小児看護の目標と役割						
第2回 ~3回	2. 小児と家族の諸統計 3. 子どもの成長・発達 1) 成長と発達とは 2) 小児期の発達段階の区分、発達の領域、評価 3) 成長発達段階別の特徴 (新生児、乳児、幼児、学童、思春期、青年期)						
第4回 ~5回	4. 小児医療・小児看護の変遷 5. 小児看護における倫理 子どもの権利と権利擁護、医療現場でおこりやすい問題点と看護 6. 小児看護の課題						
第6回	7. 家族の特徴とアセスメント 子どもにとっての家族、家族アセスメント						
第7回	8. 子どもと家族を取り巻く社会 1) 社会資源の活用 (法律、施策、制度) 児童福祉、母子保健、医療費の支援、予防接種、学校保健						
第8回	認定試験						
自己学習 関連科目	小児を取り巻く社会環境・状況、小児の成長発達について調べておきましょう。 自身の子どもの頃について、ご家族や母子健康手帳から情報を集めておきましょう。 関連科目：母性看護学概論、成人看護学概論、老年看護学概論						
テキスト	系統看護学講座 専門分野 小児看護学1 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 国民衛生の動向						
参考図書	筒井真優美：小児看護学 子どもと家族の示す行動への判断とケア 日総研 舟島なをみ 望月美知代：看護のための人間発達学 医学書院 小村美千代：小児をめぐる看護現象入門—事例から探る状況のとらえ方とケアの意味						
評価方法	筆記試験：80%、課題：20%						

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	小児看護対象論	1	30	2年次 ・ 1学期
担当講師	非常勤講師 (医師)			
授業概要	小児期における成長発達の特徴を身体的・精神的・社会的側面から捉え、発育・発達の評価を学習する。子どもの病気と経過の特徴を学習する。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児の成長と発達を理解する。</li> <li>2. 小児にみられる病気と治療を理解する。</li> <li>3. 特別な状況にある子どもと家族に必要な支援を理解する。</li> </ol>			
回数	授業内容			担当者
第1回 ～3回	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの成長・発達                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 子どもの成長・発達の原則と影響因子</li> <li>2) 子どもの成長・発達のアセスメント (形態的成長と機能的発達の評価、身体発育評価、発達検査、心理・社会的発達の評価)</li> <li>3) 小児期における成長・発達の特徴</li> </ol> </li> </ol>			
第4回	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. 子どもにおける疾病の経過の特徴とその反応                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 特徴的な経過、健康障害の特徴、子どもと家族が抱える問題</li> <li>2) 病気や治療に伴うアクシデント</li> </ol> </li> </ol>			
第5回 ～13回	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. 小児看護でよく遭遇する疾病・検査・治療                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 遺伝子・染色体異常と形態異常</li> <li>2) 新生児の疾患</li> <li>3) 代謝性疾患、内分泌疾患、免疫・アレルギー・リウマチ性疾患、感染症、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血管疾患、悪性新生物、腎・泌尿器および生殖器疾患、神経疾患、運動器疾患、皮膚疾患、眼疾患、耳鼻咽喉疾患、精神疾患、事故・外傷</li> </ol> </li> </ol>			
第14回	<ol style="list-style-type: none"> <li>4. 小児保健の動向 (予防接種)</li> </ol>			
第15回	<ol style="list-style-type: none"> <li>5. 特別な状況にある子どもと家族 虐待を受けている子どもと家族への支援</li> </ol>			
第15回	<ol style="list-style-type: none"> <li>6. 認定試験</li> </ol>			
自己学習 関連科目	小児期の成長発達の特徴について学習しておきましょう。 関連科目：症候各論Ⅰ～Ⅴ、母性看護対象論			
テキスト	系統看護学講座 専門分野 小児看護学1 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 小児看護学2 小児臨床看護各論 医学書院			
参考図書	子どもの病気の地図帳 講談社 必要時、提示する			
評価方法	筆記試験：100%			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	小児健康維持論	1	30	2年次 ・ 2学期
担当講師	非常勤講師 (専任教員歴・大学での看護教育経験歴あり、小児科病棟での小児看護経験あり)			
授業概要	<p>健康な子どもの成長発達を多面的に捉え、各発達段階・発達課題に応じて健康的な生活を送るために必要な支援について学習する。</p> <p>成長発達過程にある小児の解剖生理学的特徴を踏まえ、小児の病気にみられる症状の特徴を理解し、症状のある小児の看護について学習する。病気をもつ子どもと家族に及ぼす影響を学習する。</p>			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児の発達段階に応じた世話と健康増進のための看護を理解する。</li> <li>2. 小児の病気によくみられる主な症状と看護を理解する。</li> <li>3. 病気・障害をもつ子どもと家族に及ぼす影響を理解する。</li> </ol>			
回数	授業内容			担当者
第1回 ～7回	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児各期における健康増進のための子どもと家族の看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 新生児期・乳児期の成長・発達に応じた生活の支援</li> <li>2) 幼児期の成長・発達に応じた生活の支援</li> <li>3) 学童期の成長・発達に応じた生活の支援</li> <li>4) 思春期の成長・発達に応じた生活の支援</li> </ol> </li> </ol>			第1回 ～7回
第8回 ～14回	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. 病気や診察・入院が子どもと家族に与える影響と看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 病気・障害をもつ子どもと家族の看護 病気・障害が子どもと家族に与える影響、子どもの健康問題と看護</li> <li>2) 子どもの状況 (環境) に特徴づけられる看護 入院中の子どもと家族の看護、外来における子どもと家族の看護 在宅療養中の子どもと家族の看護、災害時の子どもと家族の看護</li> <li>3) 症状を示す子どもの看護 不機嫌、啼泣、痛み、呼吸困難、チアノーゼ、ショック、意識障害、痙攣、発熱、嘔吐、下痢、便秘、脱水、浮腫、出血、貧血、発疹、黄疸</li> </ol> </li> <li>3. 出生直後から集中治療が必要な子ども (ハイリスク新生児) と家族への看護</li> </ol>			第8回 ～14回
第15回	認定試験			第15回
自己学習 関連科目	<p>小児の各発達段階の特徴と成長発達過程にある小児の解剖生理学的特徴を学習しておきましょう。</p> <p>関連科目：小児援助論</p>			
テキスト	<p>系統看護学講座 専門分野 小児看護学① 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野 小児看護学② 小児臨床看護各論 医学書院</p>			
参考図書	必要時、提示する			
評価方法	筆記試験 100% (第1～7回：50%、第8～14回：50%)			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	小児援助論	1	30	2年次 ・ 2学期
担当講師	専任教員 (病院での小児看護経験あり)			
授業概要	小児の発達段階に応じた看護を実践するための看護技術を講義・演習を通して学習する。事例を通して子どもの権利を尊重する、子どもの持っている力を引き出す支援を考え、健康課題をもつ小児とその家族に応じた看護の展開を学習する。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 検査や処置を受ける子どもと家族への看護を理解する。</li> <li>2. 健康課題をもつ子どもと家族の看護を理解する。</li> <li>3. 健康課題をもつ子どもの看護過程を展開する。</li> </ol>			
回数	授業内容	担当者		
第1回 ～7回	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 検査や処置を受ける子どもと家族への看護                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 子どもとのコミュニケーション、プレパレーション</li> <li>2) バイタルサイン測定、身体測定、身体的アセスメント</li> <li>3) 採血、採尿、骨髄穿刺、腰椎穿刺、吸入、吸引</li> <li>4) 与薬、注射、輸液療法、酸素療法、経管栄養</li> <li>5) バイタルサイン測定 (演習)</li> <li>6) プレパレーションの実際 (演習)</li> </ol> </li> </ol>	第1回 ～7回		
第8回 ～11回	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. 健康課題をもつ子どもと家族への看護                             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 急性期にある子どもと家族への看護                                     <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 救命急処置が必要な子どもと家族への看護</li> <li>(2) 周手術期における子どもと家族への看護</li> </ol> </li> <li>2) 終末期にある子どもと家族への看護</li> <li>3) 慢性的な疾患・障害がある子どもと家族への看護</li> <li>4) 子どもの虐待と看護</li> </ol> </li> </ol>	第8回 ～11回		
第12回 ～14回	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. 健康課題をもつ小児の事例の展開</li> </ol>	第12回 ～14回		
第15回	<ol style="list-style-type: none"> <li>4. 認定試験・まとめ</li> </ol>	第15回		
自己学習 関連科目	子どもの権利、各発達段階の特徴、成長発達の原則について復習しておきましょう。 関連科目：小児健康維持論、基礎看護技術Ⅶ、健康障害援助論			
テキスト	系統看護学講座 専門分野 小児看護学① 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 小児看護学② 小児臨床看護各論 医学書院			
参考図書	伊藤龍子：カラー写真で学ぶ子どもの看護技術，医歯薬出版，第1版，2012。（電子書籍） 筒井真優美：小児看護学 子どもと家族の示す行動への判断とケア，日経研．			
評価方法	筆記試験（第1～7回：50%、第8～11回：20%）、課題レポート（第12～14回：30%）			